

介護人材実態調査（事業者用）

令和8年1月1日現在の状況について、ご回答ください。

問1 該当するサービス種別（介護予防を含む）を、ご回答ください。

※ 本調査票の送付先（郵便の宛名となっている事業所）で行うサービスについて、ご回答ください。（1つに○）

1. 訪問系サービス（訪問介護、訪問入浴、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、夜間対応型訪問介護、訪問型サービス（総合事業）、訪問看護、訪問リハ）
2. 小規模多機能型居宅介護
3. 看護小規模多機能型居宅介護
4. 施設・居住系サービス（特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護医療院、短期入所生活介護・療養介護、グループホーム、特定施設入居者生活介護、住宅型有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、軽費老人ホーム・ケアハウス）
5. 通所系サービス（通所介護（地域密着型含む）、通所リハ、認知症対応型通所介護、通所型サービス（総合事業））
6. 居宅介護支援

問2 貴事業所（問1で○をつけたサービス種別の事業所）に所属する従業員（事務職除く）について、お伺いします。

※ ここでの「従業員（事務職除く）」は、賃金の支払いを受けている方に限ります。（ボランティアの方は含みません。）

問2-1 従業員（事務職除く）の総数を、ご回答ください。（数値を記入）

従業員の総数	〔 <u> </u> 〕 人	左記のうち常勤職員	〔 <u> </u> 〕 人
		左記のうち非常勤職員	〔 <u> </u> 〕 人

外国人職員数	〔 <u> </u> 〕 人	派遣職員数	〔 <u> </u> 〕 人
--------	---------------------	-------	---------------------

問2-2 貴事業所の開設時期について、ご回答ください。（数値を記入）

開設時期	西暦 〔 <u> </u> 〕 年 〔 <u> </u> 〕 月
------	--

問2-3 令和8年1月1日時点で、開設から1年以上を経過している事業所にお伺いします。

過去1年間（令和7年1月1日～令和7年12月31日）の従業員（事務職除く）の採用者数と離職者数を、ご記入ください。

採用者数	[_____] 人	離職者数	[_____] 人
------	-----------	------	-----------

問2-4 問2-3の採用者・離職者について、常勤・非常勤の別・年齢別をご記入ください。(数値を記入)

年齢 (採用、離職当時)	採用者数		離職者数	
	常勤職員	非常勤職員	常勤職員	非常勤職員
20歳未満	[_____] 人	[_____] 人	[_____] 人	[_____] 人
20～29歳	[_____] 人	[_____] 人	[_____] 人	[_____] 人
30～39歳	[_____] 人	[_____] 人	[_____] 人	[_____] 人
40～49歳	[_____] 人	[_____] 人	[_____] 人	[_____] 人
50～59歳	[_____] 人	[_____] 人	[_____] 人	[_____] 人
60～69歳	[_____] 人	[_____] 人	[_____] 人	[_____] 人
70～79歳	[_____] 人	[_____] 人	[_____] 人	[_____] 人
年齢不明	[_____] 人	[_____] 人	[_____] 人	[_____] 人
計	[_____] 人	[_____] 人	[_____] 人	[_____] 人

問3 介護人材の充足状況（人手不足・離職率）について、お伺いします。

問3-1 現在、貴事業所において介護職員の人手不足を感じていますか。（1つに○）

1. 非常に感じている
2. やや感じている
3. あまり感じていない
4. 全く感じていない

問3-2 過去1年間で、貴事業所における介護職員の離職率は概ねどの程度でしたか（1つに○）

1. 0%
2. 0%超 5%未満
3. 5%～10%未満
4. 10%～20%未満
5. 20%～30%未満
6. 30%以上

問3－3 介護職員の採用や定着に関して、貴事業所が特に課題と感じていることは何ですか
(あてはまるものすべてに○)

1. 応募者が少ない
2. 求めるスキルや経験を持つ人材が少ない
3. 従業者の期待する賃金水準と乖離がある
4. 身体的・精神的な負担が大きい
5. キャリアアップの機会を確保するのが難しい
6. 研修の機会の確保が難しい
7. その他 ()

問4 国が示す介護従事者の配置基準は現場の実態と合っていると思いますか。(それぞれ1つに○)

	実態に合っている	実態と合っていない		当該職種 はいない
		不足	過剰	
1. 訪問介護員				
2. サービス提供責任者				
3. 介護職員				
4. 看護職員				
5. 生活相談員				
6. 介護支援専門員				
7. 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・機能訓練指導員				
8. 全体で見た場合				

問5 介護人材の早期離職の防止や定着促進について、お伺いします。

問5－1 貴事業所では介護人材の早期離職の防止や定着促進を図るためにどのような方策に取り組んでいますか。(あてはまる主なもの3つまでに○)

1. 残業を少なくする、有給休暇を取りやすくする等の労働条件の改善に取り組んでいる
2. 本人の希望に応じた勤務体制にする等の労働条件の改善に取り組んでいる
3. 賃金水準を上げる
4. 能力や仕事ぶりを評価し、処遇に反映している
5. キャリアに応じた給与体系を整備している
6. 社内研修、外部研修等の能力開発の機会を充実させている

7. 不満や悩みなどの相談窓口を設けている
8. 職場内のコミュニケーションの円滑化を図っている
9. 経営者側と従業員側とが経営方針等について共有できる機会を設けている
10. 福利厚生を充実させ、職場内の交流を深める取組をしている
11. 子育て支援を充実させている
12. 資格取得への支援制度を充実させている
13. 介護ロボットやICT等の導入による働きやすい職場づくりに取り組んでいる
14. 特に取組はしていない
15. その他（ ）

問5－2 問5－1で○をつけた中で最も効果があると思う方策を一つ選んでその番号を記入してください。

最も効果があると思う方策の番号	
-----------------	--

問5－3 問5－1で○をつけた中であまり効果がないと思う方策を一つ選んでその番号を記入してください。

あまり効果がないと思う方策の番号	
------------------	--

問6 介護人材不足に対し、行政(国、県、市)に望むことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 資格取得等のキャリアアップへの支援
2. 介護業界のイメージアップや就職促進の取組
3. 外国籍労働者の受入れ支援
4. 従業員研修メニューの充実（資質の向上）
5. ロボット等の介護機器の導入支援
6. 求職者と事業所のマッチング支援
7. 中・長期的な人材不足解消のために、若年層への啓発
8. ハラスメント対策に関する情報提供や、研修機会の提供
9. 特にない
10. その他（ ）

問7 外国籍労働者の雇用について、お伺いします。

問7-1 貴事業所では外国籍労働者の雇用による人材の確保を検討されていますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 現在雇用している ⇒問7-2へ
2. 過去に雇用したことがある ⇒問7-2へ
3. 雇用を検討している ⇒問7-3へ
4. 雇用は考えていない ⇒問7-3へ
5. わからない ⇒問7-3へ

問7-2 外国籍労働者を雇用している(過去に雇用したことがある)事業所の雇用状況について記入してください。

在留資格	人数	国籍
1. E P A (経済連携協定)		
2. 技能実習(介護職種)		
3. 留学生(介護福祉士養成施設)		
4. 特定技能外国人		
5. その他()		

問7-3 問7-1の回答内容・回答有無に関わらず、すべての方にお伺いします。外国籍労働者の受け入れについて、どのように考えていますか。(あてはまるものすべてに○)

1	業務の見直しができる	7	コミュニケーションがとりにくい
2	職場に活気がでる(活気がでると思う)	8	利用者等との意思疎通において不安がある
3	利用者が喜んでいる(喜ぶと思う)	9	できる仕事に限りがある(介護記録、電話等)
4	業務が軽減される	10	事業所のルールが理解できているか不安
5	労働力の確保ができる	11	生活、習慣等の違いに戸惑いがある
6	特に気になることはない	12	技能実習生制度等の手続きが複雑だと思う
		13	その他()

問8 65歳以上の労働者の雇用について、お伺いします。

問8-1 65歳以上の労働者の雇用を行っていますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 現在雇用している
2. 過去に雇用したことがある
3. 雇用を検討している
4. 雇用は考えていない
5. その他 ()

問8-2 65歳以上の労働者を雇用している、又は雇用を検討している事業所にお伺いします。65歳以上の労働者の雇用を行っている、又は行う理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 労働力の確保
2. 豊富な知識・経験の活用や技術継承
3. 多様な人材の受け入れを重視しているため
4. 地域貢献・社会的責任
5. その他 ()

問8-3 問8-2を回答された事業所にお伺いします。65歳以上の労働者の雇用における課題として、最もあてはまるものを選んでください。(最もあてはまるもの1つに○)

1. 体力面・健康面の管理・配慮
2. 賃金・待遇面の調整
3. 業務内容・役割の再構築(配置の難しさ)
4. 若手職員との連携・コミュニケーション
5. I C T等新しい技術・システムへの対応
6. 特に大きな課題はない
7. その他 ()

問9 派遣職員の雇用について、お伺いします。

問9-1 派遣職員の雇用を行っていますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 現在雇用している
2. 過去に雇用したことがある
3. 雇用を検討している
4. 雇用は考えていない
5. その他 ()

問9-2 派遣職員を雇用している、又は雇用を検討している事業所にお伺いします。派遣職員の雇用を行っている、又は行う理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 緊急・一時的な人手不足への迅速な対応
2. 正職員の確保が困難なため
3. 専門的な技能・資格を持つ人材の確保
4. 採用にかかる手間を削減するため
5. その他 ()

問9-3 問9-2を回答された事業所にお伺いします。派遣職員の定着や戦力化における課題として、最もあてはまるものを選んでください。(最もあてはまるもの1つに○)

1. 事業所の理念・ルールの理解・浸透
2. 他職員との連携・チームケアへの組み込み
3. 雇用期間に制約があり、長期的な育成が難しい
4. 指導や育成に時間がかかる
5. マナーや能力にばらつきがある
6. モチベーションや責任感の維持
7. 特に大きな課題はない
8. その他 ()

問10 従業員の研修について、お伺いします。

問10-1 貴事業所が実施している従業員への研修・資格取得支援についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 研修の企画・実施のための体制がある
2. 外部機関に研修実施の委託をしている
3. 外部研修への参加費を補助している
4. 研修のすべてを当該事業所内で実施している
5. 特に行っていない
6. その他（ ）

問10-2 従業員の社外研修・講習会の受講にあたって、課題となっていることは何ですか。(あてはまる主なもの3つまで○)

1. 人材不足で参加させることが難しい
2. 経営上、参加費・受講料の負担が難しい
3. 研修・講習会が実施される会場が遠い
4. 従業員が資格を取得してもすぐに反映できない
5. 特に問題はない
6. その他（ ）

問10-3 従業員の研修について、必要と思う内容についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 事故防止について
2. 虐待・身体拘束防止について
3. メンタルケアやアンガーマネジメントについて
4. きめ細やかな対応がより必要となる利用者への理解・関わり方について
5. 介護技術のスキルアップについて
6. 災害時の対応、感染症対策及びBCPの作成方法について
7. 新任職員・若手職員の交流を含めた介護従事者としての基礎について
8. 外国籍人材の受け入れ体制の整備について
9. 効果的な広報・PRについて
10. 従業員採用・定着に向けた取組について
11. 介護ロボット・ICTの導入について
12. 活用可能な助成金・補助金制度について
13. 経営マネジメント手法について
14. 人員基準、加算要件について
15. その他（ ）

問10－4 問10－3で○をつけた中で最も効果があると思う内容を一つ選んでください。

最も効果があると思う研修内容の番号	
-------------------	--

問11 従業員の人材育成について、お伺いします。

問11－1 人材育成のために、どのような方策に取り組んでいますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 教育・研修計画を立てている
2. 教育・研修の担当者（担当部署）を配属している又は決めている
3. 採用時の教育・研修を充実させている
4. 従業員に後輩の育成経験を持たせている
5. 能力の向上が認められた者は、配属や処遇に反映している
6. 自治体や業界団体が主催する教育・研修には積極的に参加させるようにしている
7. 資格取得や研修の経費の金銭的な支援を行っている（介護福祉士、実務者研修等の受講費用を補助等）
8. 資格取得や研修に対する休暇取得やシフト調整等を行っている
9. 資格取得や研修に関する活動を職務扱い（出張扱い）としている
10. 地域の同業他社と協力、ノウハウを共有して育成に取り組んでいる
11. 特に取組はしていない
12. その他（ ）

問11－2 問11－1で○をつけた中で最も効果があると思う方策を一つ選んでください。

最も効果があると思う方策の番号	
-----------------	--

問11－3 問11－1で○をつけた中であまり効果がないと思う方策を一つ選んでその番号を記入してください。

あまり効果がないと思う方策の番号	
------------------	--

問 12 利用者や家族からの過度な要望・クレーム・ハラスメントへの対応について、お伺いします。

問 12-1 利用者やそのご家族からの過度な要望やクレーム、ハラスメントへの対応に関して、課題を感じていますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 非常に感じている ⇒問 12-2へ
2. やや感じている ⇒問 12-2へ
3. あまり感じていない ⇒問 12-3へ
4. 全く感じていない ⇒問 12-3へ

問 12-2 利用者やそのご家族からの過度な要望やクレーム、ハラスメントへの対応に関して、どのような課題を感じていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 事例の判断基準が不明確
2. 適切な対応方法がわからない
3. 職員の精神的負担が大きい
4. 事業所内での対応体制整備の難しさ
5. 証拠収集や記録の難しさ
6. その他 ()

問 12-3 問 12-1 の回答内容・回答有無に関わらず、すべての方にお伺いします。過度な要望やクレーム、ハラスメントへの対応について、奈良市にどのような支援を期待しますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 相談窓口の設置・充実
2. 対応スキル向上のための研修
3. 他事業所との情報交換機会の提供
4. 利用者・家族への理解啓発活動
5. その他 ()

問 13 介護職員等による利用者への不適切ケア事例への対応について、お伺いします。

問 13-1 貴事業所では介護職員等による利用者への不適切ケアが疑われる事例への対応に関して、どのような課題を感じていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 事例の判断基準が不明確
2. 適切な対応方法がわからない
3. 事業所内での対応体制整備の難しさ
4. 行政や専門機関への相談・通報のハードルが高い
5. 証拠収集や記録の難しさ
6. 再発防止策の策定・実施の難しさ
7. その他 ()

問 13-2 介護職員等による利用者への不適切ケア事例への対応について、奈良市にどのような支援を期待しますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 対応に関する研修・ガイドラインの提供
2. 職員向けのメンタルヘルス支援
3. 行政からの積極的な情報提供
4. その他 ()

問 14 介護ロボットについて、お伺いします。

問 14-1 貴事業所では介護ロボットを導入していますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 既に導入している ⇒問 14-2へ
2. 導入を計画している ⇒問 14-2へ
3. 関心はあるが特に導入に向けて動いていない ⇒問 14-3へ
4. 導入は考えていない ⇒問 14-3へ

問14－2 貴事業所で導入（を計画）している介護ロボットはどれですか。（あてはまるものすべてに○）
また、従業員の身体的負担軽減や腰痛の予防・緩和に効果（を期待する）があったものは何ですか。

	導入（を 計画）し ている	身体的 負担軽減	効果があった（効果を期待する） 内容について記入してください
1. 移乗介助機器（装着型）			
2. 移乗介助機器（非装着型）			
3. 移動支援機器（屋外型）			
4. 移動支援機器（屋内型）			
5. 排泄支援機器			
6. 入浴支援機器			
7. 見守り支援機器			
8. コミュニケーション・セラピー機器			

問14－3 問14－1の回答内容・回答有無に関わらず、すべての方にお伺いします。

介護ロボットを導入して感じた課題、もしくは介護ロボットを導入していない理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 導入費用が高額
2. 有効性を感じない（期待できない）
3. 利用者の安全面に不安
4. 従業員の安全面に不安
5. 機器に関する情報が少ない
6. 機器のメンテナンスが大変
7. 準備・片付けに時間がかかる
8. 機器の誤作動が不安
9. 機器の操作が難しい
10. 機器を活用した業務改革が必要
11. 研修や使い方の周知が必要
12. 利用者が心理的に抵抗を感じる可能性があるから
13. その他（ ）

問15 ICTについて、お伺いします。

問15-1 貴事業所ではICTを利用して業務を行っていますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|-------------------------|---------|
| 1. 既に導入している | ⇒問15-2へ |
| 2. 導入を計画している | ⇒問15-2へ |
| 3. 関心はあるが導入に向けて特に動いていない | ⇒問15-4へ |
| 4. 導入は考えていない | ⇒問15-4へ |

※ICTとは
情報通信技術。利用者情報の一元管理や
モバイル端末等の活用により、業務の
効率化や多職種間の情報連携を図るもの

問15-2 導入した(導入を計画している)ICTは次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 介護(支援)ソフト・システム
2. 電子カルテ
3. 雇用管理ソフト・システム
4. 事業者間情報共有システム
5. パソコン等による利用者情報の一元管理
6. タブレット端末・モバイル端末
7. テレビ会議システム
8. その他()

問15-3 ICTを導入してよかったですことや効果があったことを教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1. 業務の効率化・時間短縮につながった
2. サービスの質の向上や利用者の満足度向上につながった
3. 利用者情報の共有や従業員間の連携が改善された
4. 多業者間、多職種間で情報共有を図ることができた
5. その他()

問15-4 問15-1の回答内容・回答有無に関わらず、すべての方にお伺いします。

ICTの導入・活用にあたって課題があれば教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1. 経費・費用負担の増加
2. 費用対効果が不明確
3. 従業員の習得・習熟に時間がかかる
4. 事故・トラブル等への対応
5. 維持管理が困難
6. 作業負担の増加
7. インターネット環境の整備が困難
8. ICTの導入・活用によって、そもそも何が解決できるかわからない
9. 特になし
10. その他()

問16 現在、介護サービスを提供する上で、不安に感じていることは何ですか（あてはまるものすべてに○）

1. 介護職員の人手不足
2. 職員の定着が難しい（離職率が高い）
3. 医療機関との連携が難しい
4. 認知症高齢者への対応の難しさ
5. 重度化・医療的ケアへの対応
6. 利用者・家族からの過度な要望・クレーム・ハラスメントへの対応
7. 利用者への虐待疑い事例や不適切ケア事例への対応
8. 感染症や災害などへの対応（BCP 関連）
9. 行政への申請・届出・照会等の対応が難しい
10. 制度改正への対応が難しい
11. ICT 導入や記録のデジタル化への不安
12. 業務量・事務負担の多さ
13. 特に不安は感じていない
14. その他（ ）

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。